

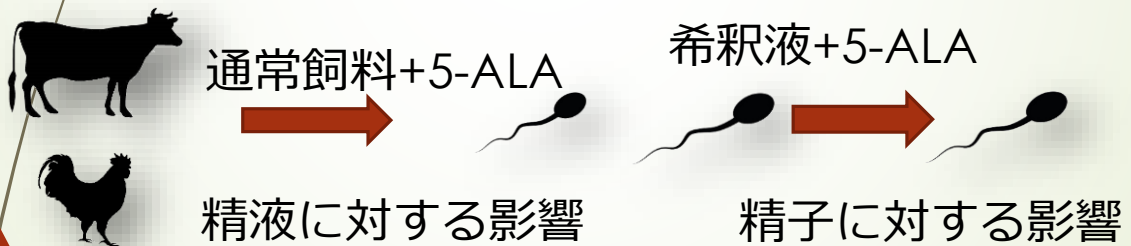
種雄牛および種雄鶏の繁殖能力向上に向けた 5-アミノレブリン酸の利用に関する研究

生物圏科学研究科 生物資源科学専攻 谷口 慎

【概要】

5-アミノレブリン酸 (5-ALA) は、4番目の炭素にカルボニル基を持つデルタ型のアミノ酸で、植物、動物、藻類、光合成細菌などに存在している。5-ALAが8つ集まりプロトポルフィリンIXになり、このポルフィリン環に様々な金属イオンが挿入された金属ポルフィリンは多様な機能をもつ。また、ポルフィリンに鉄イオン(Fe^{2+})が配位した鉄ポルフィリンはヘムと呼ばれ、様々なたんぱく質の補因子として利用されており、動物細胞においてきわめて重要な役割を果たしている。

本研究では、種雄牛および種雄鶏に5-ALAを経口給与し、精液性状に対する効果を明らかにするとともに、鶏精液希釈液への5-ALA添加試験を実施し、5-ALAの精子細胞に対する直接的な効果および作用機序を明確にしています。



開催日時

令和4年2月4日 (金) 15:00 - 16:00

Microsoft Teams meeting

コンピューターまたはモバイル アプリで参加できます
[会議に参加するにはここをクリックしてください](#)

本セミナーは、統合生命科学研究科のプログラム共同セミナーの対象です。